

タカラストانダード初の新築マンション向け専用浴室シリーズ 「リラクシア MP タイプ」12月21日（月）新発売 ～省施工化やデザイン性向上でシェア獲得を図る～

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラストانダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、新築マンション市場における浴室のシェア向上を図るため、同市場向けとして初めて専用シリーズ化したシステムバス「リラクシア MP タイプ」を2020年12月21日（月）に発売します。



■タカラストانダード初、新築マンション専用浴室シリーズ

当社は、新築マンション向けキッチンにおいては、商品仕様やサイズ調整など細やかな対応力もあり、約75%という高いシェアを誇っています。一方、浴室に関しては、沓摺り（※）の高さなど、新築マンションの納まりに適合しきれていなかったために、提案できる現場が限られ、シェアを獲得できていませんでした。

人口減に伴って住宅着工戸数が減少する中、持続的な成長を図るためには、新築マンション市場における浴室シェアの拡大は大きな課題です。そこでこの度、新築マンションの納まりを再検証し、改善を加えた新シリーズ「リラクシア MP タイプ」を発売する運びとなりました。

「リラクシア MP タイプ」は、沓摺りの高さを低くした専用架台構造を採用するなど、バリアフリー化が進む新築マンションでも柔軟な対応を実現する商品です。同商品の発売によって、新築マンション向けの浴室販売台数を2022年度までに現在の2倍に伸ばします。

（※）沓摺りとは…ドア枠の下部、下枠に当たる箇所。脱衣場と浴室の高さの差。

■施工性が向上し、4年で4割の施工時間を削減

当社の浴室の大きな特徴は「ホーロークリーン浴室パネル」です。清掃性が高くお手入れが簡単であることに加え、マグネット収納の取り付けも可能で、浴室には最適な当社独自の壁パネルですが、壁パネル自体の強い剛性を利用できる点から、パネルにあらかじめ金具を取り付け、決められた順番にパネルをひっかけて組み立てる構造になっていました。しかしこの構造だと、組み立て手順が複雑で、金具の取付けに時間がかかるだけでなく、施工後のメンテナンスにも手間がかかるという課題がありました。

そこで、壁の強度を保ちながらパネルを嵌め合わせられるよう、パネルの継ぎ目の構造を見直しました。支柱を組立て、パネルをはめこむ構造に抜本的に見直すことで、事前準備や組み立て手順を不要にし、施工後のメンテナンスも容易になりました。

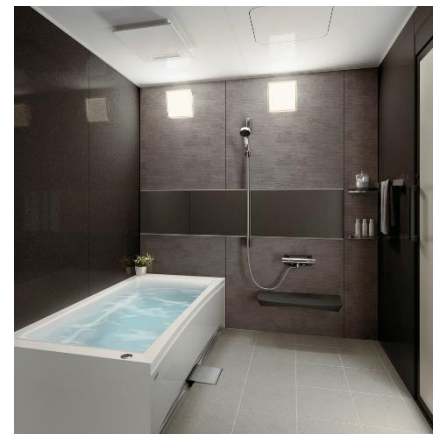
当社では、2016年から商品の仕様変更による省施工化への取り組みを開始。極力現場での作業を減らすために、部品削減や開梱作業の簡素化、現場での穴あけ工程の削減などによって、商品の質を落とさずに仕様変更を行うことで、施工時間の削減を重ねてきました。

今回の壁パネルの構造見直しで1台につき40分の時間短縮が実現。今回の削減分も合わせ、取り組みを始めた2016年時点では6時間以上かかっていた施工時間（1人施工の場合）を、2時間30分（約4割）削減することができました。

■デザインのバリエーションを強化

「リラクシア MP タイプ」では、トレンドに合わせたパネル柄も多数登場。自然な素材感で近年注目を集めるテラゾー柄や、目を引く鮮やかなキャンバスイエロー、人気のインダストリアルテイストのコンクリートグレーなど、多彩なラインナップでさまざまな世代やお好みの方のこだわりに応えるバリエーションをご用意しています。

お手入れが簡単で便利な「高品位ホーロー」のパネルでありながら、高いデザイン性も実現しています。



(キッチンでも人気のコンクリートグレー柄)

新築マンション向け浴室「リラクシア MP タイプ」をはじめ、今後も各市場にあった商品を提供することで、皆さまの暮らしを豊かにしていきます。そして、タカラスタンダードはこれからもより多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう、独自の「高品位ホーロー」を生かした商品を展開してまいります。

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業108年） / 売上高（連結）2,015億円（2019年度） / 従業員数（連結）6,214名]